科目ナンバリング	U-LAS04 20024 SJ46						
授業科目名<英訳>	発達心理学基礎ゼミナール Introductory Seminar on Developmental Psychology			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　大倉　得史		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

受講生自身の自己分析と他者との語り合い、および発表と討論を通して、青年期の人格形成と心の動きを具体的に明らかにしていく。「ILASセミナー：発達心理学」に比べ、より内面的な心理的過程に注目する。

[到達目標]

自己分析を通して、自分の中のかすかな感覚や無意識的な心の動きを知り、自分を大切にできるようになる。

[授業計画と内容]

０．自己分析の方法論（第1回）
１．アイスブレーキング（第2回）
２．青年期における生活感情（第3～5回）
３．青年期における優越感と劣等感（第6～8回）
４．青年期における世界観（第9～11回）
５．職業選択と青年期（第12～14回）
６．フィードバック（第15回）

[履修要件]

「ILASセミナー：発達心理学」を履修しているとより望ましい。

[成績評価の方法・観点]

各回の自己分析内容と討論への参加度、およびレポートにより評価する（レポート60%、各回の課題40%）。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
大倉得史『拡散 diffusion ～「アイデンティティ」をめぐり、僕達は今～』（ミネルヴァ書房）
E.H.エリクソン『アイデンティティとライフサイクル』（誠信書房）
西平直『魂のアイデンティティ』（金子書房）
河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
新宮一成『夢分析』（岩波新書）
S.フロイト『夢解釈Ⅰ・Ⅱ』（岩波書店）

発達心理学基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓

発達心理学基礎ゼミナール(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

日ごろから夢を記録し、分析すること。
青年期に関する文献を集めておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

自己分析のワーク中心の授業で自己開示を必要とするので、そのつもりで受講を検討すること。
受講人数の制限を行う。
初回の授業に必ず出席すること。無断で欠席した者は抽選に通っていても受講を認めない。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部